

▶17日 木曜

エレミヤ

32:36 それゆえ、今、イスラエルの神、主は、あなたがたが、「剣とききんと疫病により、バビロンの王の手に渡される。」と言っているこの町について、こう仰せられる。

32:37 「見よ。わたしは、わたしの怒りと、憤りと、激怒とをもって散らしたすべての国々から彼らを集め、この所に帰らせ、安らかに住まわせる。

32:38 彼らはわたしの民となり、わたしは彼らの神となる。

32:39 わたしは、いつもわたしを恐れさせるため、彼らと彼らの後の子らの幸福のために、彼らに一つの心と一つの道を与え、

32:40 わたしが彼らから離れず、彼らを幸福にするため、彼らととこしえの契約を結ぶ。わたしは、彼らがわたしから去らないようにわたしに対する恐れを彼らの心に与える。

32:41 わたしは彼らを幸福にして、彼らをしてわたしの喜びとし、真実をもって、心を尽くし思いを尽くして、彼らをこの国に植えよう。」

32:42 まことに、主はこう仰せられる。「わたしがこの大きなわざわいをみな、この民にもたらしたように、わたしが彼らに語っている幸福もみな、わたしが彼らにもたらす。

32:43 あなたがたが、『この地は荒れ果てて、人間も家畜もいなくなり、カルデヤ人の手に渡される。』と言っているこの国で、再び畑が買われるようになる。

32:44 ベニヤミンの地でも、エルサレム近郊でも、ユダの町々でも、山地の町々でも、低地の町々でも、ネゲブの町々でも、銀で畑が買われ、証書に署名し、封印し、証人を立て



るようになる。それは、わたしが彼らの捕われ人を帰らせるからだ。・・・主の御告げ。・・・」

神様の回復の預言があるのにも関わらず、イスラエルの現状は悲惨なものでした。それはエレミヤには矛盾に思えましたが、しかしそこに神様の全能による救いがあったのです。つまり、さばきの現状の中で、すでに回復のご計画と約束があったということです。

ここでも、「国々から彼らを集め、この所に帰らせ、安らかに住まわせる。彼らはわたしの民となり、わたしは彼らの神となる。・・・」というように、主の祝福と回復に満ちています。

苦しいことや悲しいことがあっても、そしてそれが自分の不信仰から引き起こしたことであっても、私たちは主の回復があることを信じましょう。その苦しさの中で、すでに神様の回復が始まっていることを、信仰の目で見させていただきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

